

9: 悪性リンパ腫(ML)【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 古賀 友紀	九州大学大学院医学研究院	周産期・小児医療学講座
岩崎 史記	神奈川県立こども医療センター	血液・腫瘍科
小林 良二	札幌北榆病院	小児思春期科
鈴宮 淳司	社会医療法人駿甲会 コミュニティーホスピタル甲賀病院	血液内科・内科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
深野 玲司	山口大学医学部附属病院	小児科
森 麻希子	埼玉県立小児医療センター	血液・腫瘍科
亀井 美智	名古屋市立大学病院	新生児・小児医学分野
堀 大紀	札幌北榆病院	小児思春期科
土持 太一郎	成田赤十字病院	小児科
坂田 優	九州大学病院	小児科

2. 会議開催記録(2023 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2023 年 2 月 11 日 7:30~8:30	名古屋国際会議場 2 号 館 225 会議室	小児悪性リンパ腫 WG、各々のテーマと進捗状況についての 確認、今後の展望について

3. メーリングリストによる意見交換（メーリングリスト開設から 2023 年 12 月末時点まで）

（ 472 ）回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

小児悪性リンパ腫は化学療法の工夫により治癒率が向上した。これからは遺伝子解析や分子生物学の進歩により、個々の患者のがんの特性や反応をより詳細に理解し、個別化された治療法がますます重要となり、CAR-T 細胞療法やチェックポイント阻害薬など小児適応となった治療法が有効性を発揮する時代が到来すると思われる。その中で、移植の位置づけ、意義を明確にしていけるように、また、副作用の軽減や管理に焦点を当てた研究が重要であるとする。